

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ沖繩立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成29年1月11日 NO.80 (380)

花ちゃん 「モンタ博士、『わくわくドキドキ沖繩コーナー』は、おもしろいですね。」

オー君 「いろいろなものがてんこ盛りで、本当にわくわくドキドキしました。」

モンタ博士「そうってもらとうれしいね。」

花ちゃん 「沖繩という所は、とてもきれいなお花がたくさんあるんですね。」

モンタ博士「そのとおり、いろいろとあるんだよ。ところで、植物の成長を決めるのは、  
いったい何だろうねえ。わかるかな。」

オー君 「うーん。何だかむずかしい質問ですね。」

花ちゃん 「そうですね。でも、生き物だから、絶対に水は必要ですね、雨の量というのは、とても大切なことだと思いますが・・・。」

モンタ博士「そのとおりだね。もう1つあるんだけど、何だろうね。」

オー君 「うーん。そうだ！あたたかさかな？」

モンタ博士「そのとおり。あたたかさ、つまり温度が高いほど、植物の種類も多くなり、  
多様性が高くなるということなんだ。だから、南に行けば行くほど、いろいろな花がいっぱいなんだよ。」

オー君 「花もいいけど、いろいろな生き物も、  
たくさんいたんですね。」

モンタ博士「そうなんだ。沖繩のヤンバル(沖繩の北部で漢字で山原)  
たとえば、『ヤンバルクイナ』という鳥が  
話題になるけど、右の写真の『イボイモリ』  
もかなり珍しいもので天然記念物なんだ。」



花ちゃん 「へえー、すごいですね。でも、モンタ博士、よくつかまえられましたね。」

モンタ博士「それがね、モンタ博士がつかまえたのではなくて、ヤンバルの森を歩いていたら、沖繩県のワイルドな親子に会ってね、それでいろいろと教えてもらったのさ。大きなムカデも見つけてね、新種だといって、喜んでいたよ。」

オー君 「へえー。それはよかったですね。ところで、  
右の写真は、きれいなカメムシですね。」

モンタ博士 「このカメムシが、葉っぱの裏にたくさん集まっ  
ていたのには、驚いたね。越冬中だったね。」

花ちゃん 「名前は何かというのですか。」

モンタ博士 「ナナホシキンカメムシという名前だね、  
それはそれはきれいなカメムシさ。」

オー君 「右の写真のチョウもきれいなもようをしてい  
ますが、これも沖縄のチョウですか。」

モンタ博士 「もちろんだよ。これはね、リュウキュウアサギ  
マダラとチョウなんだ。アサギマダラというのは、

日本全国にいるけどね。なお、リュウキュウというのは、漢字で『琉球』  
と書くんだ。沖縄の古い呼び方でね。琉球王国というのがあったからさ。」

花ちゃん 「琉球王国というのは、グスク  
及び関連遺産群として、世界  
遺産にもなっていますね。」

モンタ博士 「さすが花ちゃん。よく知って  
いるね。右の写真は『座喜味  
城跡』で、沖縄にある300

余りの城の中で、もっとも美しい城とされているんだ。石垣に使っているの  
は、琉球石灰岩というもので、互いにけずりながら曲線を描くように積ま  
れた城壁なんだ。」

オー君 「右の写真は、トラックみたいな車ですね。」

モンタ博士 「これは、黒砂糖のもとであるサトウキビを  
機械で刈っているところなんだ。」

※お土産として持ってきたサトウキビをみんなで食べたり、サンゴや貝を  
プレゼントしたりする予定です。詳しくはまた連絡するので楽しみに！

